



# 翔

百万石蝶談会 No125 April 1997

## イカリモンハンミョウの班紋

野 中 勝

名古屋で開かれた昆虫即売会で九州産のイカリモンハンミョウを入手したので、石川県産と並べて写真を撮ってみた(写真-1)。左から石川県羽咋市産、鹿児島県中種子島町、宮崎県日向市産で、いずれも上が雄、下が雌である。一見して石川県と種子島のものは白帯が太く、宮崎県のはこれが細いのが分かる。3産地のものをそれぞれ少なくとも10頭は見ているが、この特徴は安定しているようである。外国産のものも含めた詳細な検討が望まれる。

石川県の標本を恵与された中西重雄氏、いろいろと情報を提供して下さった井村正行氏に感謝したい。

《のなか まさる 〒458 名古屋市緑区伝治山1-2 タウン伝治山9-206》

## 幻光に輝く雌のコムラサキ

松 井 正 人

能登産のコムラサキを飼育したところ、紫色の幻光に輝く黒色型の1♀が羽化した。この個体の両親も飼育によって羽化したもので、両親はどちらも黒色型である。

幻光は♂のそれほど強くは無いが、一見してそれと気付くもので、飼育で羽化する鱗粉の載りの薄い(一般にそう言われている)個体に良く似ている。同一母蝶から羽化した個体と比較したのが写真-2で、翅形は♂型、斑紋は♀型、交尾器を確認すると♀だった。

1994年7月13日 中島町北免田 1♀羽化

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

## 石川県最北のギフチョウ

松 井 正 人

ギフチョウは石川県加賀地方に広く生息しているが、能登地方には偶産の記録が有るだけで生息していない。金沢市～津幡町に分布の境界が有ると思われ、今の調査段階では国道304号線とほぼ重なっている。

ギフチョウの分布にカンアオイは不可欠で、この辺りは平栗付近のようにベツタリとは自生せず、狭い範囲にしか見られない。今後、新たな自生地が見付かる事は充分予想され、最北の地は北へ動く可能性がある。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》



## 金沢市倉ヶ岳のツマグロヒョウモン

牧原 悟 郎

金沢市倉ヶ岳のツマグロヒョウモンについて、牧原（1995）の続報を報告します。目撃、採集とも記録は筆者のものです。

ツマグロヒョウモン：金沢市倉ヶ岳

1995年8月10日	山頂	1♂目撃	1995年9月12日	山頂	3♂目撃
1995年8月29日	山頂	1♂目撃	1996年9月2日	山頂	1♂目撃
1995年9月12日	パネアツ付近草原	1♂採集			

1996年は♀に会うことを期待していたのですが、釣や茸に熱中してしまい、チャンスを逸してしまいました。9月2日ようやく会うことができましたが、かなりボロの♂でした。

《参考文献》

牧原悟郎（1995）北陸の蝶2題. 翔（116）：9.

《まきはら ごろう 〒924 松任市山島台3-44》

## 宝達山にいたウスバシロチョウ

松 井 正 人

宝達山（羽咋郡押水町）のウスバシロチョウは、古くは武藤（1963）によって報告され、最近では嵯峨井（1987）によって報告されている。筆者も嵯峨井氏と同年に発生地を確認し、その後毎年訪れるようにしている。

ウスバシロチョウは、山崎から宝達にかけての宝達川河原に多く見られ、河原や土手には食草のムラサキケマンが見られた。ところが、ある年この河原にバックホウが入り、河原を掘り下げていた。宝達川は天井川で、河床を下げる必要が生じたらしい。一面に掘り下げられた後には、河原は無くなっていた。

最大の発生地は消えてしまったが、土手や周辺で発生は続くだろうと考えていた。しかし、その後ウスバシロチョウは、全く観察されなくなった。

河原は再生されつつあるが、この地にウスバシロチョウが飛ぶのは何時の事だろうか。

《参考文献》

武藤 明（1963）能登半島のトンボとチョウ（2）. 生物研究（福井）7（1・2）：19-23.

嵯峨井淳郎（1987）宝達山のウスバシロチョウ. 翔（65）：2.

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

## 釈迦林道（六万山）におけるカミキリムシ採集記録

矢田 新平

白峰村釈迦林道（六万山）で採集したカミキリムシについて、報告する。

1995年6月18日、天候は曇、気温は20～22℃、11時45分から15時30分の3時間45分で、釈迦林道入口より約6kmを往復し、主にタニウツギ、ミズキ、シシウド等の花をスィーピングした。タニウツギは満開でミズキは満開の時期を終えていたが、カミキリムシはタニウツギよりミズキの方に多かった。

NO	種名	採集数	NO	種名	採集数
1	ムネアコモヒメハナカミキリ	7	9	ナガバヒメハナカミキリ	76
2	ニセアコモヒメハナカミキリ	29	10	キバクハヒメハナカミキリ	2
3	イロヒメハナカミキリ	1	11	フタオビノミハナカミキリ	1
4	セスジヒメハナカミキリ	77	12	ヒナリハナカミキリ	1
5	ミヅキヒメハナカミキリ	25	13	ヨスジハナカミキリ	6
6	フタバノミハナカミキリ	44	14	シノクロフカミキリ	1
7	チャイロヒメハナカミキリ	24	15	ヒメゲナガカミキリ	1
8	シラネヒメハナカミキリ	1	16	ヒメゴボカミキリ	1

セスジヒメハナカミキリ、ナガバヒメハナカミキリ、フタオビノミハナカミキリは多く、ネットに入ったが放虫したものもある。また、一週間前に富沢 章氏により多数のシロトラカミキリが採集されているが、この日は採集できなかった。

同日、白峰村市ノ瀬の道路脇の杉材より、スギカミキリ2頭も採集している。

最後に、種の同定をしていただいた井村正行氏に、紙上をお借りして深謝申し上げる。

《やた しんぺい 〒923 小松市上小松町丙192-8》

## 1996年ゴマシジミ採集記 1. 白山編

勝海雅夫

1996年の高山性蝶の発生について考えてみると、5月～6月にかけての温暖な気候が幸いして発生は例年並となり、乗鞍のオオイチモンジも7月20日頃には♀が発生ピークを迎えている。しかし、残雪が多く残る沢筋で発生する種類では、10日程遅れたように思われる。この影響をまともに受けたのが、クモマツマキ、オオゴマシジミ、ミヤマモンキ、タカネキマダラセセリなどである。では、ゴマシジミはどうだったかというと、白山山系

ではやはり例年より10日程遅かった。そんな訳で、1996年は恒例のお盆採集にタイミング良くゴマシジミが発生したのだった。

《ムモンアカシジミに寄り道》

8月11日早朝、白峰村のムモンアカシジミに寄り道する事にした。朝露にぬれるミズナラを叩くと、いつもの発生木からまず1頭飛び上がったが、ヨタヨタと奥のミズナラ林へサヨナラするではないか。「先が思いやられるなあ」と思いながらも、気を取り直して周りを縦横にピーティングした結果、やっと1頭をネットイン。目撃は、3～4頭と例年より少なく感じた。

《時期ピッタリのゴマシジミ》

ムモンアカシジミを早々に切り上げ、一路白山スーパー林道を目指す。今回はじっくりゴマシジミを捜す予定で、有効期限8月15日までのスーパー林道のチケットを往復で購入。午前9時半、スーパー林道県境トンネルを抜けて三方岩岳に着いた。草地は未だ朝露でびっしょり濡れている。カライトソウの花穂は開花6割、蕾4割とゴマシジミの時期にバッチリ。ゆっくりと3時間探し回り、ゴマシジミの目撃観察は7頭で、岐阜県側3♂2♀、石川県側2♀。キベリタテハも、石川県側の岩棚で目撃する事ができた。他には、ジョウザンミドリ2♂、ヒメキマダラヒカゲ1♂を観察。アイノミドリ1♂、アサギマダラ1頭を目撃し、遅い昼飯をとっている間に、何やら雲行きが怪しくなってきた。この時期特有の雷雨が、峰々をゆっくりと侵略しはじめたので、あわてて岐阜県側に下山した。

《要注意のアサマシジミ》

三方岩岳で注意したいのは、アサマシジミ。1995年8月12日岐阜県側三方岩岳駐車場上部にて完全個体1♂を目撃している事から、今回チェックしたが、それらしき個体も見受けられなかった。食草は、駐車場トンネルの入り口付近のイワオウギ、または駐車場上部のイワオウギかと考えるが、憶測に過ぎない。

《時期にはギフチョウが》

スーパー林道の馬狩ゲートをくぐったのは、午後2時40分を過ぎていた。春はギフチョウで賑わう白川村馬狩である。ここのギフチョウはウスバサイシン食いで、国道156号沿線では富山県東砺波郡平村上松尾や小来栖から、岐阜県大野郡白川村馬狩、大窪、保木脇、平瀬まで確認している。ギフチョウは明るいタイプで、特に♀の後翅肛角部の赤が発達した個体が多い。発生時期は、5月上旬～中旬にかけてである。

《締めくくりは温泉で》

ゴマシジミが多産する三方崩山への登山道は、平瀬からついている。この登山道脇に村営温泉があり、格安で誰もが利用できるので、採集の疲れを癒して家路につくのもオツなもの。我々の容姿も、朝露とドロにまみれたドロドロ状態なので、一風呂浴びていくことにした。

《かつみ まさお 〒525 草津市野村7-16-15 U-202》

## 石川県のシジミチョウ 3

松井正人

前回 (NO.124 FEB. 1997) に引続き、石川県のシジミチョウについて紹介する。

同産地のデータは最も新しいものを採用し、メッシュ分布図は国土地理院発行の5万分の1の地形図を16等分して用いた。

## 7 コツバメ

能登地方で記録されていないが、県内に広く分布すると思われる。

## 参考文献

1964年 5月 5日	鹿島町芹川	1 頭	尾田良知	781
1971年 5月 3日	押水町東間	1 頭	嵯峨井淳郎	412
1979年 5月 3日	金沢市河内谷	2 頭目撃	松井正人	
1985年 4月28日	金沢市観法寺	1 頭目撃	松井正人	
1979年 5月 3日	金沢市菊水	2 頭目撃	松井正人	
1985年 4月28日	金沢市曲子原	1 頭目撃	松井正人	
1986年 5月 0日	金沢市金沢城跡	1 頭目撃	古見 克	379
1978年 5月16日	金沢市犀川ダム	1 頭目撃	松井正人	
1980年 5月 4日	金沢市倉谷川	8 頭目撃	松井正人	
1982年 4月16日	金沢市中戸	1 頭目撃	松井正人	
1993年 4月17日	金沢市東原	2 頭目撃	松井正人	
1979年 4月22日	金沢市栃尾	2 ♂	金平永二	431
1979年 5月 2日	金沢市日尾	2 頭目撃	松井正人	
1991年 4月17日	金沢市平栗	1 頭目撃	松井正人	
1993年 4月17日	金沢市牧山	1 頭目撃	松井正人	
1985年 4月29日	金沢市娯杉	2 ♀	澤田 博	
1987年 5月10日	河内村コツ谷の頭	3 頭目撃	松井正人	
1979年 5月 4日	河内村下金間	2 頭目撃	松井正人	
1989年 5月22日	河内村上福岡	1 頭目撃	中野 純	144
1958年 4月20日	鳥越村阿手	2 頭	小坂 巖	104
1992年 5月10日	鳥越村左礫	1 頭目撃	松井正人	
1994年 4月17日	吉野谷村下吉野	1 頭	高田兼太	
1991年 4月28日	尾口村鴛ヶ谷	目撃	竹谷宏二	
1994年 6月 4日	白峰村砂御前山	1 頭	富沢直浩	905
1988年 5月 1日	白峰村三ツ谷	1 頭目撃	松井正人	
1988年 5月 1日	白峰村市の瀬	1 ♂目撃	松井正人	
1994年 4月29日	白峰村小赤谷	3 頭目撃	松井正人	
1985年 5月15日	白峰村大道谷西山	目撃	竹谷宏二	375
1988年 5月 1日	白峰村白峰	2 頭目撃	松井正人	
1985年 5月 5日	辰口町仏大寺	1 頭目撃	松井正人	
1977年 4月10日	辰口町和気	数頭目撃	松井正人	
1980年 4月11日	小松市加賀八幡	1 ♀	中山佐一郎	104
1979年 4月18日	小松市観音下	1 頭	中山佐一郎	24
1986年 5月 4日	小松市岩淵	1 頭目撃	松井正人	
1995年 5月 6日	小松市原	1 頭	富沢直浩	905
1983年 5月10日	小松市西俣	1 ♂	中山佐一郎	104
1978年 4月23日	小松市大倉岳	1 頭	中山佐一郎	24
1990年 3月21日	小松市大野	4 頭目撃	松井正人	

1993年 4月18日	小松市中峠	1頭	富沢直浩	905
1980年 4月21日	小松市長谷	1頭	中山佐一郎	24
1980年 4月 5日	小松市東山	1♀	中山佐一郎	24
1990年 5月 6日	小松市動山	目撃	野中 勝	
1980年 4月11日	小松市八幡	1♀	中山佐一郎	24
1985年 4月20日	小松市尾小屋	1♂目撃	吉村久貴	590
1985年 4月10日	小松市遊泉寺	1♂4♀	中山佐一郎	104
1984年 4月25日	小松市里川	1♂	中山佐一郎	104
1986年 4月 8日	小松市蓮代寺	1♂	中山佐一郎	105
1992年 5月 4日	加賀市鞍掛山	目撃	武藤 明	393
1985年 4月 6日	加賀市牛の谷峠	目撃	吉村久貴	590
1985年 4月 6日	加賀市曾宇	目撃	吉村久貴	590
1994年 4月16日	山中町中田	1頭目撃	松井正人	
1984年 4月29日	山中町鶴ヶ滝	1頭目撃	松井正人	

## 8 クロシジミ

記録の全ては、犀川ダム周辺 5 km前後に集中している。1965年にダムが完成し二又新は水没したが、それ以前に日尾、見定を含めた周辺集落は離村している。

### 参考文献

1957年 7月14日	金沢市日尾	1♀	今井宏三・他	318
1958年 8月 4日	金沢市二又新	1♂1♀	中村 繁	5
1973年 7月 6日	金沢市犀川ダム付近	1♂	出嶋利明	103
1978年 7月18日	金沢市見定	1♀採集 1♂目撃	吉村久貴	402

## 9 ウラナミシジミ

県内各地に見られ、8月頃から普通に観察される。

### 参考文献

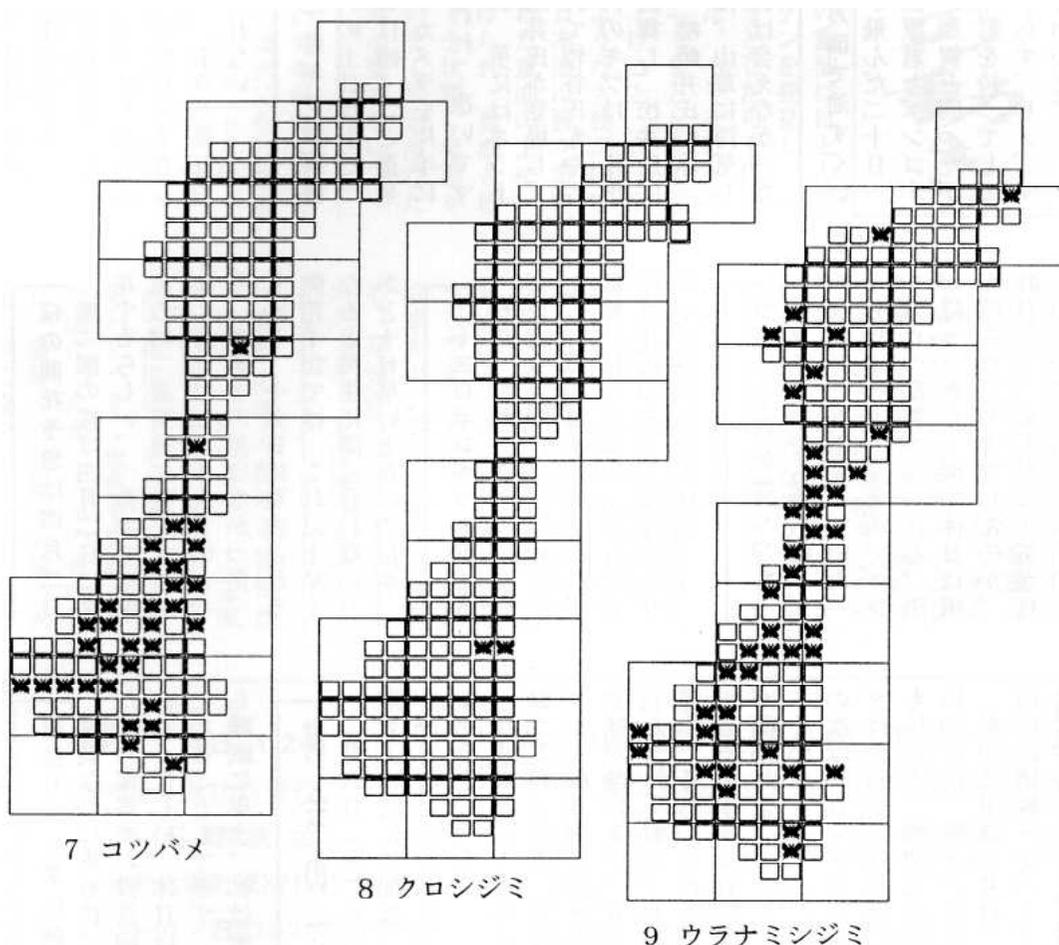
1978年10月 1日	珠洲市寺家須神社	1♀	松井正人	
1994年 8月31日	輪島市高洲山	1頭目撃	松井正人	
1990年 9月22日	穴水町別所岳ピーク	1頭目撃	松井正人	
1963年 9月24日	鹿島町石動山	1頭	尾田良知	781
1981年 9月20日	富来町関野鼻	多数目撃	嵯峨井淳郎	474
1991年10月24日	富来町久喜	1頭目撃	松井正人	
1987年 9月 6日	富来町荒屋	1♂目撃	松井正人	
1994年10月30日	富来町鹿頭	1頭目撃	松井正人	
1994年10月30日	志賀町江野	3頭目撃	松井正人	
1994年10月15日	羽咋市一の宮	6頭目撃	松井正人	
1990年 9月 9日	羽咋市基石ヶ峰ピーク	1頭目撃	松井正人	
1992年 9月15日	羽咋市次場	10頭目撃	松井正人	
1990年10月 7日	志雄町子浦	数頭目撃	松井正人	
1990年10月 7日	志雄町新宮	数頭目撃	松井正人	
1990年 9月24日	押水町紺屋	数幼	上田 昇	
1990年10月 7日	押水町竹生野	多数目撃	松井正人	
1994年 9月26日	押水町宝達山	2頭目撃	松井正人	
1995年11月19日	押水町北川尻	3頭目撃	松井正人	
1994年 9月26日	高松町黒川	多数目撃	松井正人	
1992年11月14日	宇ノ気町七窪	12頭目撃	松井正人	
1992年11月14日	津幡町河北潟	1♀目撃	松井正人	

1992年11月14日	津幡町川尻	1♂目撃	松井正人	
1961年10月8日	金沢市医王山	♂♀	桜井正喜	52
1971年9月12日	金沢市三口新	1頭	松井正人	
1969年8月14日	金沢市大桑	1頭	松井正人	
1992年11月22日	金沢市八田	1頭目撃	松井正人	
1969年9月8日	金沢市涌波	1頭	松井正人	
1990年10月1日	松任市三浦	1頭目撃	竹谷宏二	
1984年8月15日	鶴来町小柳	4♂	吉村貴己・他	574
1992年9月20日	鳥越村河原山	1♀目撃	松井正人	
1983年9月22日	吉野谷村三方岩岳駐車場	1♂	嵯峨井淳郎	555
1985年9月8日	尾口村尾口発電所	1♂目撃	松井正人	
1961年7月30日	白峰村三ツ谷	1頭	武藤 明	37
1990年10月21日	白峰村白山釈迦林道	1頭目撃	松井正人	
1994年9月26日	川北町山田先出河川敷	目撃	江口元章	302
1993年10月29日	川北町中島	目撃	江口元章	302
1994年10月9日	辰口町仏大寺	3頭	富沢直浩	905
1994年10月9日	小松市鶴川遊泉寺	3頭	富沢直浩	905
1987年8月14日	小松市丸の内小松高校	目撃	中山佐一郎	65
1979年10月28日	小松市丸山	1♀	中山佐一郎	104
1984年9月26日	小松市岩渕	1頭		128
1979年10月13日	小松市吉竹	1♀	中山佐一郎	24
1979年10月28日	小松市大山	2♀	中山佐一郎	24
1987年9月21日	小松市大杉上	1♀	中山佐一郎	105
1978年10月13日	小松市東山	3♀	中山佐一郎	104
1982年12月4日	小松市平面	1♀	中山佐一郎	104
1978年11月6日	小松市蓮代寺	1♀	中山佐一郎	24
1984年9月24日	加賀市加佐岬	1♀	吉村久貴	581
1978年10月7日	加賀市橋立	2♂	松本和馬	414
1995年10月10日	加賀市出村	1頭目撃	松井正人	
1996年9月15日	加賀市片野	2頭目撃	松井正人	

## 《 参考文献 》

- 5) 武藤 明 (1959) 金沢附近の蝶数種について, 新昆虫 12(5/6):40-41.
- 24) 中山佐一郎 (1981) 小松市とその周辺のチョウについて, 小松市立博物館研究紀要, 第18集:1-26.
- 37) 武藤 明 (1962) 白山の注目すべき昆虫数種について, 生物研究(福井) 6(2):21-23.
- 52) 桜井正喜 (1962) 医王山の昆虫, 6pp. (自刊).
- 65) 中山佐一郎 (1988) 小松市とその周辺のチョウについて(第5報), 小松市立博物館研究紀要, 第25集:1-4.
- 103) 出嶋利明 (1991) 石川県におけるシジミチョウ4種の記録, 昆虫と自然 26(2):25.
- 104) 小松市立博物館 (1987) 所蔵品目録 IV:37-57.
- 105) 小松市立博物館 (1988) 所蔵品追加分 昆虫類(鱗翅目1-19), 小松市立博物館研究紀要, 第25集:66-70.
- 128) 中山佐一郎 (1992) 小松市とその周辺のチョウについて, 小松市立博物館研究紀要, 第29集:1-24.
- 144) 中野 純 (1991) 日本産蝶類採集日誌-1989. 5. 22~7. 1-, ひゃくとりむし(87):8-9.
- 302) 江口元章 (1995) 川北町昆虫目録, 川北町史 第1巻(自然・生活編):843-867.
- 318) 今井宏三・勝田 博 (1957) 金沢市近郊の蝶を追加す, とつくりばち(5):9.

- 375) 竹谷宏二 (1986) 白峰村のギフチョウ, とっくりばち(52):7.  
 379) 古見 克 (1988) 金沢城跡の蝶, とっくりばち(54):2-6.  
 393) 武藤 明 (1993) トンボを中心とする分布・生態資料(1992), とっくりばち(61):2-5.  
 402) 吉村久貴 (1978) 犀川上流のクロシジミ, 翔(2):4.  
 412) 嵯峨井淳郎 (1979) 宝達山と周辺の蝶類について, 翔(4):3-5.  
 414) 松井正人・松本和馬 (1979) 加賀市橋立10月の蝶, 翔(4):7.  
 431) 金平永二 (1979) 採集メモより その2, 翔(9):9-11.  
 474) 嵯峨井淳郎 (1981) 関野鼻付近・中秋の蝶, 翔(23):6.  
 555) 嵯峨井淳郎 (1984) 白山スーパー林道にてウラナミシジミを採集, 翔(47):7.  
 574) 吉村貴己 (1985) GT(グランドツーリング)採集記<白山三ツ谷の巻>, 翔(50):19-21.  
 581) 吉村久貴 (1985) 加賀海岸で見られた蝶, 翔(51):2.  
 590) 吉村久貴 (1985) 1985年度ギフチョウ属調査記録, 翔(52):4-5.  
 781) 尾田良知 (1964) 石動山地方の蝶, 4pp. (自刊).  
 905) 富沢直浩 (1996) 僕が採ったチョウの記録, 翔(121):6-9.



《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

高田君はインドネシアへめでたく生態学研究室への入院が決まり、喜び勇んでパリ、ジャワ三週間の旅に出た。教授のアシスタントとの触れ込みは現地入まで、到着や否や趣味の虫を採りまくる予定。

あれ〜どうなってるの  
暇はあっても金が無いのが学生だった。有り余る時間は近所のプラプラ採集で過ごしていた。パリ、ボルネオ、マレーシア、どうなってるの。今時の学生は金も有り、どんどん海外に出かけていく。

花粉にやられに行く？  
春先になると、夫はソワソワ落ち着かない。休日は待ち兼ねたように出かけていくが、目薬とマスクの重装備は忘れない。毎年、一番ギフを求めて出かけて行くが、夫は花粉にやられて帰ってくる。

市町村集めか新産地開拓か  
ワンシーズンにギフの採集

は何日可能か。休日、晴天、新鮮個体と条件を重ねると、高度と緯度を変化させても、せいぜい四、五日にしかならない。これで市町村集めなんてやったら、新産地開拓なんてやったらられない。

遊泉寺で一番ギフ観察会  
十五、十六の土日は雨だったが、二十日は晴。ここ遊泉寺には、まずカメラを片手に松田氏が現われ、次いでマスキの松井氏、更にはネットを持った嵯峨井氏が登場し、ちよつと遅れて竹谷氏もやってきた。期待のギフは、松田氏の前では乱舞し、松井氏にはウインク、嵯峨井氏のネットに納まった。山草に浮気してきた竹谷氏は会えなかった。

小松加賀方面で池すくい  
一番ギフが飛んだ二十日、富沢親子は西原君とゲンゴすくい。小松、加賀と回ったが、さしもの西原君を持ってしても大物はかからず、ヒメ、マメの成果に終わった。

桜の開花予想は四月二日  
兼六園の桜は四月二日に開花するらしい。一番ギフは開花の約二週間前に発生するので、今年は三月十九日頃となり、現実との差はなかった。しかし、十九日に発表される開花予想では、これ以上早くないと発生に間に合わない。あと十日早いと良いのだが。

二十三日ボロギフも混ざる  
松田、嵯峨井のギフ一番隊、再び遊泉寺でギフと一戦を交える。気温はあまり上がらず乱舞は見られなかったものの、嵯峨井氏のネットにはかなりのギフが吸い込まれた。

プラプラ行かなくっちゃ  
ギフチョウでも眺めに、プラプラ行こうかとしていた。十分程走ると、至る所でギフチョウの乱舞が見られる。雨が降ってきた。何で休日に雨が降らなくちゃならんのか。昨日まで、あんなに天気良かったのに。バカヤロウ。

虫採りできずに顔色悪し  
営業なのに車も持てず、ひたすら電車でお得意回り。とにかく忙しい。休日は、起き上がることもできず、もっぱら睡眠に専念。私は飯田です。

### 例会の記録

二月六日(木) 八時から城南管工二階にて開催。  
寒さのためか、たった4人の例会となった。

昆虫目録にともなう文献目録が話題になり、目録ができても文献が閲覧できなくては意味が無いとか、せめて「月刊むし」「昆虫と自然」「新昆虫」くらいは何時でも閲覧できる場所が欲しい、等の声が聞かれた。

その他には、アオマダラの次はクロマダラだ、ツヤハダは何時でも採れる、ネプトも採れる、鴨池にはヤコンがいっぱい、等々。

参加は中西、井村、松井、山岸の精鋭メンバー。  
表紙デザイン・小幡英典

# 会員の動き・しゃばの動き

**エサケルス一号** 発行  
 小さなクワガタを材崩しで採集するグループの機関紙で、名古屋の暇なオジさんも交じっている。一号はツヤハダクワガタ特集で、婆竹輪、鶴羽氏等とエサケルスネームを使って好き放題に書いている。インターネット版もある。

**インターネットに接続**  
 指田宅のマツク君、ついにインターネットに接続。しかし、何なら何まで学生まかせで、何がどうなっているのかサッパリ分からない。おいおい使いこなしていきらしい。

**三月の重油回収に参加して**  
 虫でも捜すかのように、重油の塊を捜した。ツブゲン大からクロゲン大の大ききで、

シャープ大の重油はほとんど無い。マメゲンを発見し、ヘラですくおうとしたら下にながっていた。ヘラを砂へもぐらすとグニヤリとした手応え。すくい上げると、タイワシタガメのような大物が出てきた。冬の日本海は波が荒い。打ち上げられた重油の上に、砂が打ち上げられ、重油と砂はサンドイッチ状態。気温が上がって黒いチーズが溶けだすと思うと気が気でない。

**不思議なハガキが舞込んだ**  
 「東京から金沢に引越してきました。蝶歴三十五年。よろしくお願いします。」とあるが、名前が書いてない。翌日、越虫とキンダーバグから電話があり、同じハガキが届いたと言う。名無しでありここに出入しているらしい。

**井村会長パソコンを購入**  
 ペンティアム二〇〇、もちろんMMXの超高速パソコンを購入した井村会長、後はインターネットに接続するだけとなった。これで、アメリカシタバ氏の熱烈なラブコールにも答えることができる。

**今年が一番ギフの予想は！**  
 一番ギフの予想を富山の方からつついてきたが、コタツボケした頭は、何も考えていなかった。察した相手は、土日が休みである当方を盛んにうらやましがった。この効果は絶大で、ボケた頭は回りだし、早速休日の予定を立てるのだった。友は持つものです。

**和服の蝶と戯れる指田氏**  
 忙しくて忙しくて、「天気の良い休日は恨めしい」とうめく指田氏。それにしても元氣バリバリ、血色も良好。不思議だったが、天気の良い平日、着飾った和服のお嬢さん達の中に姿を発見し納得した。

## 翔

NO. 125

1997年4月10日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

〒920-01 ☎0762-58-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜8時から

TEL参加もOKです(0762-44-3318)



## 目 次 (125号)

野中 勝：イカリモンハンミョウの斑紋	1
松井正人：幻光に輝く雌のコムラサキ	1
松井正人：石川県最北のギフチョウ	1
牧原悟郎：金沢市倉ヶ岳のツマグロヒョウモン	3
松井正人：宝達山にいたウスバシロチョウ	3
矢田新平：釈迦林道（六万山）におけるカミキリムシ採集記録	4
勝海雅夫：1996年ゴマシジミ採集記 1. 白山編	4
松井正人：石川県のシジミチョウ 3	6
編集部：会員の動き・しゃばの動き	11